

平成23年度東京国際交流館国際シンポジウム

未来のスマート社会と先端科学技術

The Coming Smart Society and Advanced Science & Technology

～3.11を乗り越えて～

<http://www.smartsociety2012.com/>

豊かで快適な生活を実現するために構築された20世紀型の社会システムが、大量のエネルギー消費が原因とみられる自然災害や食糧危機、健康被害などによって深刻な危機に直面しています。わが国は、昨年3月11日の東日本大震災を機に、更に厳しいエネルギー問題を突き付けられています。

こうした状況下で注目されているのが『スマート社会』です。エネルギーの生産から消費までの各プロセスを根本から見直し、エネルギー源の多様化、伝送や分配の最適化、消費効率の向上を目指した省エネ機器の開発などを通じて、現在の社会システムを再構築する試みがはじまりつつあります。

このシンポジウムでは、米国における再生可能エネルギー研究の第一人者であるダニエル・カンメン博士(UCバークレー教授)、ASEAN地域における先端科学技術研究をリードするロー・テクセン博士(シンガポール科学技術研究庁、Managing Director)をメインゲストに招聘し、未来のスマート社会とそれを実現するための科学技術について皆さんと共に考えてゆきたいと思えます。

プログラム(予定) ※全て日英同時通訳付	
9:45am	開場
10:30am	開会
	基調講演1:「次世代自動車と新たなモビリティが拓く低炭素社会」 大聖 泰弘(早稲田大学教授)
11:50am-1:00pm	昼食
	基調講演2:「米国・エネルギー多様化への挑戦」 Dr. Daniel M. Kammen(カリフォルニア大学バークレー校、Distinguished Professor)
	基調講演3:「持続可能な未来都市の実現」 Dr. Teck Seng Low(シンガポール科学技術研究庁、Managing Director)
3:00pm-3:15pm	コーヒブレイク
	基調講演4:「3.11を機に進むICT基盤整備とスマート社会」 佐藤 拓朗(早稲田大学国際情報通信研究センター教授)
	パネルディスカッション:「スマート社会実現を目指す国際連携」 Dr. Daniel M. Kammen、Dr. Teck Seng Low、学生パネリスト ファシリテーター/佐藤 拓朗
	まとめ:佐藤 拓朗(早稲田大学国際情報通信研究センター教授)
5:30pm	閉会
6:00pm-8:00pm	懇親会(無料)

交通案内

◆電車

新交通ゆりかもめ「船の科学館」東出口より徒歩約3分
りんかい線「東京テレポート」B出口より徒歩約15分

◆バス

りんかい線東京テレポート駅より波01(東京テレポート駅前～中央防波堤)
「船の科学館駅前」下車

